

<103> 導入の「授業づくり」でのエッセンスは？

「授業づくり」での、導入のエッセンス例を示してみます。エッセンス例を参考にし、導入が上手に展開できるようにチャレンジしてはいかがでしょうか！

エッセンスー１：導入の役目を認識する

導入の役目は、生徒の気持ちを主体的な「問題解決」の学習に取り組む方向へとスイッチさせ、学習に必然性を感じさせ、主体的な「問題解決」の学習への関心を引き起こすようにします。

エッセンスー２：導入での「発問」を工夫する

「発問」は、《できる限り短くする》、《投げかけは、正解の答えを求める「？」でなく関心を引き起こす「！」にする》、《共通体験している事例で「この写真を見て！」の後に間をおき、「どう思う！」や「どうしたらいいの！」的に課題へ意識を向けさせる》などです。具体的な「発問」の工夫例は、資料をご覧ください。

資料：「発問」の工夫例

- ・学校のまわりから、技術の力で問題が解決できそうな例を写真などで提示し「君たちが見ているこれ……！」、「技術の力で解決するには、どうしたらよいかな！」などの発問で、関心を喚起する。
- ・説明を短くするには、ワークシートなどを準備する。
- ・言葉だけの情報だけではなく、学習内容へ気持ちを振り向けるような視覚情報も活用する。
- ・ワークシートなどへの記載の指示は命令調でなく柔らかくする。